



機械器具 58 整形用機械器具 骨手術用器械 70962001

プレート用トライアル

一般医療機器

【禁忌・禁止】

(併用医療機器)

- 他社製品(指定製品以外)との併用はしないこと[相互作用の項参照]

【形状・構造及び原理等】

1. 組成

チタン

2. 形状・構造及び原理等

本添付文書に該当する製品の製品名、製品(カタログ)番号、サイズ等については包装表示ラベル又は本体の記載を確認すること。

【原理】

本品は、骨接合手術等の骨手術に用いる手動の手術器械である。

【使用目的又は効果】

適切なインプラント用プレートを選択するために使用されるテンプレートである。

【使用方法等】

1. 使用方法

本品は未滅菌品のため、使用に際しては必ず洗浄を行い下記の条件又は各医療機関により検証され確認された滅菌条件により滅菌を行う。

*

標準的滅菌条件: 高圧蒸気滅菌法

サイクル	真空脱気式飽和蒸気
滅菌温度(℃)	132-137
滅菌時間(分)	4-18
乾燥時間(分)	30 以上(チャンバー内で)

上記滅菌条件は、ブリオンの不活化を意図していない。
使用方法については必ず手術手技書を参照のこと。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 表面の損傷や機械器具の変形を防ぐ為、各機械器具は丁寧に扱うこと。
- 2) 術前に、手術に必要な各機械器具が組み合わせて機能することを確認すること。
- 3) 術中、インプラントと機械器具又は機械器具同士がしっかり接続されていることを繰り返し確認すること。
- 4) 術野内で整備する際に機械器具に対して治療部位以外が損傷を受ける原因になるような過度な力をかけないようにすること。
- 5) 滅菌時間中、推奨する滅菌温度が維持されていることを担保するために、オートクレーブのパリテーション及び定期的な検査を行うこと。
- 6) 紙フィルターの滅菌コンテナを使用する場合は、滅菌毎に新しいフィルターを使用することを推奨する。
- 7) 標準的滅菌条件に従って滅菌した後に、滅菌コンテナ又は機械器具の内外に水分が残っている場合、乾燥させた後に再度滅菌すること。
- 8) トライアルは適切なインプラント用プレートを選択するためのテンプレートであり、インプラントとして使用してはならない。
- 9) トライアルを曲げたり、加工して使用してはならない。
- 10) 汚染されたトライアルはインプラントモジュールに戻さず、指定された方法で洗浄、滅菌すること。
- 11) K ワイヤ、スクリュー、ペグと併用しないこと。
- 12) 滅菌インプラントのプレートを開封する前に、トライアルとの製品番号を比較確認すること。
- 13) 一時的な組織、体液への接触は認めるが、24 時間以上接触させてはならない。

- 14) トライアルは常に品番が上に向けた状態で使用すること。そうすることにより左右誤ったインプラントが選択されることを回避できる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品の原材料はインプラントを目的としたものではない。本品が破損した場合、術後合併症が起こる可能性があるため、破片が体内に残らないようにすること。
- 2) 生命の維持に必要不可欠な重要臓器、神経、血管の近くで機械器具を使用する場合は特に注意すること。
- 3) インプラントを抜去する際には、インプラントを挿入した際に用いた機械器具、又は該当するインプラントの抜去用の機械器具を使用すること。

2. 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

1) 併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状措置方法	機序・危険因子
他社製品(指定製品以外)	摩耗、緩み、摩耗粉、破損等が発生する可能性がある。	・サイズ、形状、強度が異なるため適切な組み合わせが得られない。 ・インプラントを骨に正確に設置することができない。

3. 不具合・有害事象

1) 不具合

【その他の不具合】

- 1) 本品の破損、変形、分解
- 2) 有害事象
- 【その他の有害事象】
- 1) 本品の不適切な使用または不具合による神経障害、麻痺、疼痛
- 2) 本品の不適切な使用または不具合による血管、軟部組織、臓器、関節の損傷
- 3) 感染症
- 4) 術野内での操作における過度な力が加わることによる損傷
- 5) 本品の不適切な使用または不具合による手術時間の延長
- 6) 骨の亀裂、骨折、穿孔
- * 7) 破損した本品破片の体内遺残による、アレルギー、感染症、生物学的性質の合併症、破片除去のための再手術

上記の項目が不具合・有害事象の全てではない。これらの不具合・有害事象の治療のため再手術が必要な場合もある。

* 4. その他の注意

本品にクロイツフェルト・ヤコブ病の汚染が疑われる場合は、当社安全管理部門に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

- * 保管方法: 高温、多湿、直射日光をさけて保管

【保守・点検に係る事項】

- 1) 本品使用前に、傷、割れ、有害なまくれ、錆、錆割れ、接合不良等の不具合がないか、外観検査を実施すること。
- 2) 本品使用後は、直ちに洗浄、すすぎ等の汚染除去を行った後、血液等異物が付着していないことを確認し、使用方法等欄に示す滅菌方法及び滅菌条件で滅菌を行い保管すること。

洗浄について

- 1) 汚染除去に使用する洗剤は、必ず医療用洗剤等、当洗浄に適したものを使用すること。
- 2) 洗浄装置(超音波洗浄装置を含む)を使用する場合は、鋭利な機械器具同士が接触して損傷しないよう注意すること。

- 3) 超音波洗浄装置を使用する場合は装置の取り扱い説明書に従って機械器具の隙間、嵌合部に異物等がないことが確認できるまで洗浄すること。
- 4) 洗浄後は腐食防止のため直ちに乾燥すること。
- 5) 強アルカリ／強酸性洗剤・消毒剤は機械器具を腐食させるおそれがあるため使用しないこと。
- 6) 洗浄及び滅菌に使用する水は出来るだけ蒸留水・脱イオン水を使用すること。
- 7) 洗浄には柔らかいブラシ、スポンジ等を使い、洗い磨き粉、金属ブラシ等は使用しないこと。
- 8) 洗浄中にトライアルが動かないような置き方をすること。
- 9) 全トライアルをインプラントモジュールに置かないことを推奨する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

日本ストライカー株式会社

連絡先電話：03-6894-0000（代表）